

問 本町の均衡ある発展のため、どの集落においても同じように土地利用をする必要がある。那覇広域都市計画区域に入っていることが足かせになっていないか。もしそうであれば、この都市計画区域を抜けてもいいのではないか。

町長 南風原町は道路網のアクセスが良好。国道507号や南風原・与那原バイパスができてきたが用途の見直しができないということになると町民は大きな不利益を被る。南部全体として那覇広域から抜けることを考えることも必要ではないか。他の市町ができれば南風原町だけでもと腹をくくって行動したい。

国道早期整備の要請を

問 南風原・与那原バイパス、那覇空港自動車道の小禄道路について平成32年をめどに早期整備を南風原町から国へ要請すべきではないか。

南風原町の均衡発展に那覇広域都市計画は足かせでは



玉城 勇 議員

答 那覇広域からの離脱も考える

副町長 南風原・与那原バイパスは、沖縄総合事務局と南部市町村建設行政に関する懇談会で早期整備に向けた要望を行っている。小禄道路も早期整備に向け要請をしていく。

地方創生実現に向けて

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定は努力義務が課されている。地域に合った処方箋づくりを本町はどう取り組むか。

副町長 総合戦略の策定及び推進は、全庁的に取り組む。南風原まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部を設置する。住民や有識者からの意見等を受け、今年度中に総合戦略を策定する。

「くがに市場」盛り上げに

問 「くがに市場」は地場農産物の魅力をPRし、地産地消の推進拠点としての期待がある。

町からの力強い後押しが望まれる。どのような施策を考えているか。

副町長 国・県の補助事業や一括交付金を活用したい。農産物を増やせるよう施設や機械等の導入に積極的に取り組む。生産体制の強化に努め、関係部署と連携を図る。商品開発及びイベントの協力にも対応する。



「くがに市場」の様子